

平成22年3月1日
第55号
(毎月1日発行)
中津川市
山口総合事務所
(0573) 75-2126

暮らしやすいまちづくり



馬籠簡易水道浄水場整備



市道山口20号線整備



ほ場整備上平北工区

活力と快適さを持った

暮らしのために

生活・産業基盤の整備進む

年度末を迎え、各所で行っている建設事業が順調に進んでいます。

水道関連では、生活に必要な水を安定供給するために、遠方監視装置や馬籠簡易水道の改良整備を進めています。

青木平地区のほ場整備は、国道下の上平北工区(第2町内会付近)と上平南工区(第3町内会付近)を実施しています。

市道山口20号線は第5町内会から第6町内会へ通じる道路幅の狭い道路で、本年度の工事区間がこのほど完成しました。

ふるさと椿街道は大沢川に向かって馬籠と山口両側から道路工事を進めるとともに、新梨川に南野橋を架ける(3月予定)ための準備を行っています。

馬籠公衆トイレ改修や荒町地内での旧中山道特殊舗装など、観光関連整備も進めています。

また補正予算で山口小学校体育館の耐震化や旧やまぐち幼稚園跡地へのUIターン者用住宅(1棟・6戸)建設も着手していきます。

事業実施にあたり、地域の皆様には用地の提供や工事中の様々なご不便などについてご協力をいただき感謝申し上げます。

地域づくり計画を 策定しています

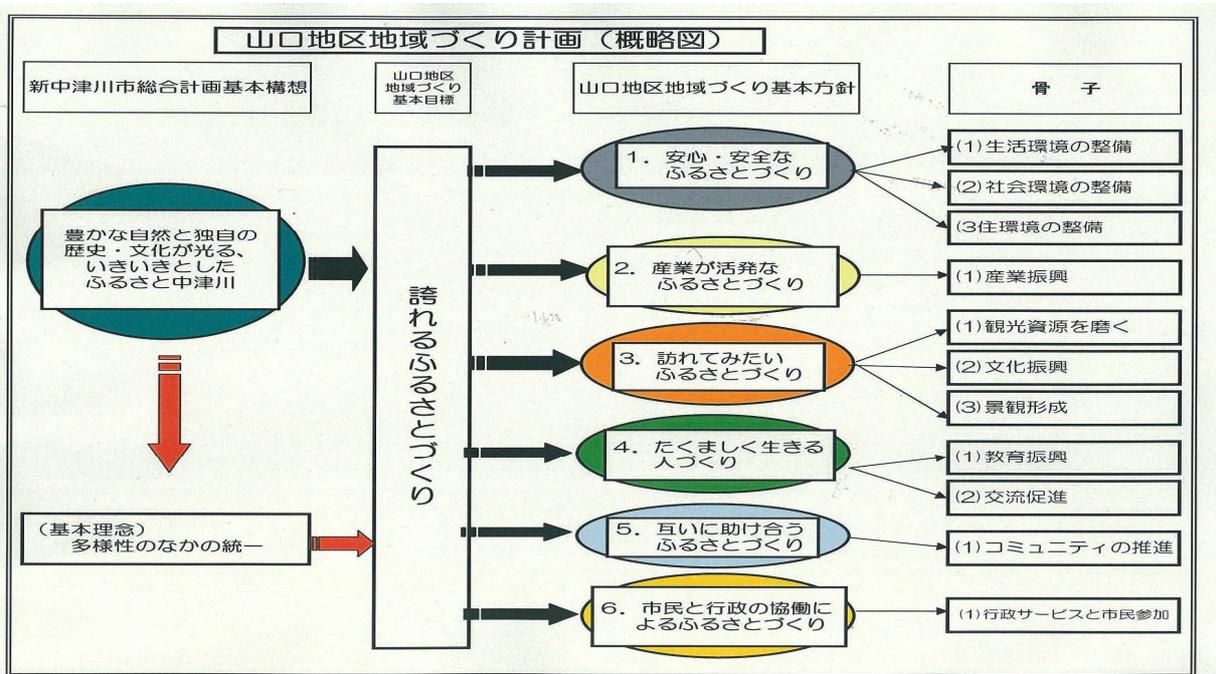
地域づくり審議会では、今後の10年を見据えた「山口地区地域づくり計画」を策定しています。

山口地区では、平成12年から10年にわたって過疎地域自立促進計画が進められてきました。それらの実績を評価しながら、また、山口、馬籠の両地域づくり推進協議会での議論や各地区懇談会、市政懇談会、地域からの要望書など市民の皆さんの声を踏まえながら、ここまで4回の会議を重ねて構想を固めてき



ました。

11月初めから始まった計画書づくりも終盤戦を迎えています。今後、計画書としての体裁を整えて、年度末に完成の予定です。また、3月末には地域づくりの提言書として、市長への提出が予定されています。



UIターナー者用住宅を 旧やまぐち幼稚園跡地に建設

山口地域審議会が
早期建設を要望



鈴木会長から市長に要望書
が手渡されました。

山口地区では少子高齢化の進展によりコミュニティ機能が低下し、小学校の複式学級化も懸念される状況から、市政懇談会、女性懇談会などにおいて若者定住のための住宅施策が求められています。

こうしたことから山口地域審議会（鈴木茂喜会長）は1月20日大山市長にUIターナー者用住宅の早期建設を要望しました。

貴方の家は大丈夫ですか？ 峠で耐震化出前講座開設

1月28日（木）に峠農業研修センターで住宅の耐震化に関する『出前講座』として実際に耐震診断を行う岐阜県建築士会中津川支部が講師となって地震による住宅の被害、住宅の耐震化の方法や、耐震化の補助制度についての説明を行いました。

これは、馬籠峠地区内の家屋が国の有形文化財登録の指定調査が行われるのに伴い、地域の伝統ある街並みを地震から守ろうと行われたもので、参加者は熱心に耐震化のプロの話聞いて勉強していました。

新潟県中越沖地震や阪神・淡路大震災でも昭和56年以前の住宅に被害が集中しました。まずは無料の耐震診断を行い、自宅の安全性を確認しましょう。

- 【参考】：無料耐震診断の対象となるのは左記のすべての条件を満たす住宅です。
- ① 昭和56年5月31日以前に着工された木造一戸建て住宅
 - ② 特殊な建築でないもの
 - ③ (店舗等の併用住宅の場合) 面積の半分以上が居住用として利用されていること

ごへー祭り女性委員公募

10月に開催されるごへー祭りの企画・運営に携わっていただける女性委員を公募します。

ごへー焼きの中心である女性の意見を反映させ、地域づくりに繋がる祭りの開催を目指す為の取り組みの一つです。

申し込み締め切り: 3月19日
 公募人数: 若干名
 ※申し込み多数の場合は、実行委員会による選考があります。

【申し込み】山口総合事務所
 担当: 石原・畑佐 ☎75-2126



熱心に学ぶ峠地区の皆さん



中津川市では、今回のような地域での出前講座や、無料耐震診断の受け付けを行っております。住宅の耐震化について関心のある方は、山口総合事務所地域福祉課、または市役所建築住宅課までご連絡ください。

【問い合わせ先】中津川市役所建築住宅課
 ☎六六一二二二二（内線二五七）



完成イメージ

市ではこれを受けて補正予算により前倒しで住宅建設（1棟・6戸）を実施することとしました。建設場所は昨年8月に審議会委員らが候補地として選定した旧やまぐち幼稚園跡地です。

また入居者が将来にわたって山口地区に定住いただくよう、地域と行政が一緒になった取り組みも始めています。

施設の概要（予定）【1戸あたり】

- 2LDK、駐車場2台分
- 家賃3万円/月

入居の条件（予定）

- 山口地区外に住んでいる（配偶者または婚姻予定者がいて入居者全員が35歳以下）
- 入居期間は5年以内
- 退去後、山口地区に定住すること

※入居者募集は11月頃行う予定です。

三地区(山口・坂下・川上)合同で 女性懇談会開催

女性の声を市政に反映するため、市長を
迎え毎年実施しています女性懇談会を、2
月9日夜、山口公民館で開催しました。



今回は坂下、川上地区との合同開催となり、3地区から約50名(山口からは18名)が出席し、女性の視点から各地区が抱える問題、課題について意見や要望が出されま

懇談会でいただいた発言については、聞きっぱなしにならないよう進捗管理をしていくとともに、出来ることから実施をしていきます。

【山口地区に関連する主な発言、回答は次の通り】

・独身男性が親の介護を行う場合、正しい情報が得られず苦勞が多いので支援が必要。

(回答) 調査をし、当事者の方と話をする機会を設けて、次のステップを見出していきたい。

・坂下病院の産婦人科復活を求めるとともに、中津川市民病院との協力体制により妊婦検診を坂下病院で行う方法などの検討を。

(回答) 医師の確保は全国的な産科医の減少により大変難しく、大学病院へお願いに行くしかない状況で、これからも努力していきたい。妊婦検診などについては資格者の意見を聞いて、出来ることから組み立てていきたい。

・イベント助成金について維持継続を。
(回答) 事後評価をして一律ではなく応分としていきたい

・少子化問題については各年代の女性が集まって話し合う機会が必要。

(回答) 少子化対策課を設置しているので、ここを窓口として計画していきたい。



馬籠地域のこれからについて

馬籠地域づくり推進協議会・馬籠区長会
馬籠観光協会・藤村記念郷が座談会

合併5年を迎える2月13日(土)の夜、馬籠集会所に於いて、座談会が開催されました。

中山道馬籠宿という県を代表する観光地を有する地域です。同時に行政区と学区が異なる地域です。どういった地域にしていく事がよいか試行錯誤されています。そこで地域を担う団体が一堂に会し、膝を交えて話し合う試みがされました。

その中で見えてきたものは、『藤村が皆の心の故郷となっている。地域から藤村が遠い存在になってしまえば寂しさを感じている』という事でした。

座談会に参加した中京学院大学准教授須栗先生は、「地域に馬籠、藤村に奥深い思いがあることを感じる。文化を守る意識から、いかに伝えていくかが求められる時期にきている。自分達の故郷を創り、故郷を感じられる地域創りという理念を持ちながら進めることが大切である」と述べられました。

この座談会は、継続される予定です。

自分達の地域は、自分達の手で！
すばらしい取り組みのスタートです😊